



かわいほ子

小中一貫型
小野市立
河合小学校
令和6年3月

—他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成— 「強く 正しく 温かく」

令和5年度 学校評価の結果

保護者の皆様には、この一年間、本校教育に多くのご協力、ご支援をいただき深く感謝申し上げます。昨年末に実施しました保護者、児童、教職員による学校評価アンケートをもとに、今年度の教育活動について自己評価及び学校関係者評価を行い、今後の取り組みの方向性について下記のようにご報告させていただきます。

アンケート結果の見方について

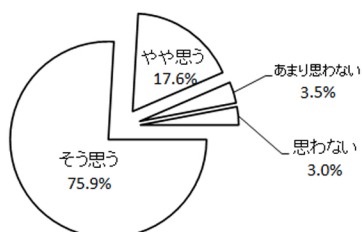
アンケートは1～5年生の保護者と児童生徒を対象とし、各質問内容について、「A=そう思う」、「B=やや思う」、「C=あまり思わない」、「D=思わない」、の選択方式で実施しました。分析は「A・B」を肯定的な評価と捉え、類似する質問ごとに総括し、主だった内容について取りまとめています。

1 学校生活の満足度①②⑧⑨

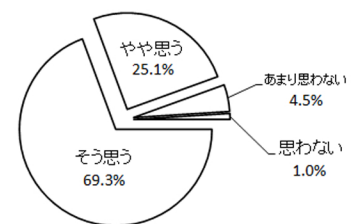
学校生活の満足度について、児童、保護者、教職員ともに肯定的評価を得ています。また、学習への取り組みや理解について、児童、保護者の方共に高い評価を得ています。今後も、少人数指導や複数指導、中学校教員による教科担任制指導、ICT機器を効果的に活用し、児童が「わかる、できる」を実感する授業等、各発達段階に合わせて取り組んでいきます。さらに授業改善をすすめ自ら学ぶ力の育成に努めます。

学校行事については、児童は概ね成長していると感じています。小中合同体育祭では企画段階から児童生徒が連携してオリエンテーションやプログラムの準備、内容について話し合いをすすめました。練習においても1～9年生の縦割りチームで試行錯誤を繰り返し、「スタートライン絆の始まり」をねらいとした児童生徒と教職員が一体となって創りあげる行事となりました。また、縦割りふれあい講座では、1～9年生が地域の方とつながる場として、各班で交流を図り、特別支援学校児童生徒との交流活動にも取り組みました。

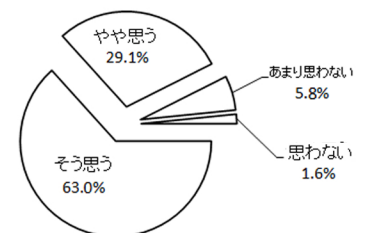
問14] わたしは、がっこうのぎょうじ(ご…かいなど)をと
おして、せいちょうしている。



問1] わたしは、がっこうでたのしくすごしている。



問1] お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。



音楽会やマラソン大会では、練習を通して自己の可能性に挑戦し、仲間とともに高め合う経験をしました。今後も学校行事が児童一人ひとりの成長の場となるよう、児童と教職員がともに魅力ある行事を計画し実施していきます。